

第二十一回帝國議會 院 鐵道抵當法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十八年二月二十三日午前九時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

奧田 義人君 望月 右内君 恆松 隆慶君
東尾 平太郎君 内藤 利八君 神崎 東藏君
福岡 精一君 佐竹 作太郎君 板東 勘五郎君
松本 恆之助君 伊藤 德太郎君 小田 貫一君
長 晴登君 安念次左衛門君 毛里 保太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

遞信大臣 大浦 兼武君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 一木喜徳郎君

法制局參事官 吉村源太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道抵當法案(政府提出貴族院送付)

○委員長望月右内君 ツレデハ之ヨリ會ヲ開キマス

○板東勘五郎君 今日モ質問致シタウゴザイマスガ、大舩ノ質問ヲ、私ハモウ一箇條ゴザイマスカラ、ツレハ願上マシテ、アトハ逐條ニ掛ルト云フ順序ニ願ヒタイと思ヒマス、其私ノ大舩ニ付イテ、モウ一回承ッテ置タウゴザイマスノハ、ヤハリ昨日段々承ハリマシタ、此鐵道ノ財團ヲ設ケマスルニ付イテ、全部ト一部トノ關係デゴザイマス、一部ノ財團ヲ設ケマスルニ付イテハ、其財團ノ目錄ニ記載シマスル、物權ノ關係等ノ、段々困難ナ事情ヲ承ハリマシタガ、又モウ一ツツレハ翻シテ考ヘマスルト、當ニ一部ノ財團ニ對シテ、物權ヲ區別シマスルノハ、難事ノミナラズ、他日競賣ナリ強制管理ニ當ジテモ、或ハ行フベカラザルヤウナ、モノニ至リハシマスマイカト考ヘマス、ツレハ斯ノ如ク二箇條ニ於キマシテ、強制管理ヲ行フ時分ニ、管理人ヲ置キマシテ、其管理人ニ對シテ、代理者ノ即チ財團ヲ所有シテ居ルモノニ、諸般ノ書類モ分割シテ渡サナケレバナラス、其強制管理人ハ、取扱職務ヲ官廳ニ對シテ行ハナケレバナラス、斯ウ云フコトニナリマス、全部ノ財團所有權ハ移ラスシテ、一部ノ線路ニ對シテ、其財團ニ對シテ一ノ取扱役ヲ、再ヒ拵ヘナケレバナラヌコトニ、營業上ノ關係ニナリマス、ドウシテモ現在ノ一ノ鐵道會社デアリマスレバ、本線ナリ支線ナリ、總テヲ聯絡シテ、諸般ノ設備ヲ爲シタモノハ無論デアル、ツレハ獨立シテ一部ノ營業、總テノ設備ヲヤラウト云フコトハ、恐ラク鐵道ニ於テ難義デアラウト思ハレマス、ツレガ果シテ難義ト云フコトニナリマス、折角一部ノ財團ヲ拵ヘテモ、其手續キニ困難ナルガタメニ、利益モ少ナクナル、又抵當權者ニ於テモ、甚ダ不安心ヲ抱ク憂ガ起リハセヌカ、所謂強制上、目的ヲ達スルニ、サウ云フヤウナコトガ生ズルト思ヒマスガ、又凡ソ鐵道會社ガ外資ヲ輸入スルニハ、最モ多額ノ資金ヲ得ンガタメデアルカラ、

實際ニ於テ起ル問題デアラウト思ヒマス、即チ分割セズシテ鐵道財團ヲ、一部ニ許サヌ、一ノ全部ニ於テ許スコトニシマシテ、其全部ニ於テ許シタ鐵道財團ハ——此鐵道ニハ二番抵當トカニ番抵當トカニフモノヲ許シテ居リマスカラ、ツレ等モ得ラレマセウカラ、此抵當權設定法ニ付イテハ、寧ロ一部ノ財團ト云フコトハ止メテシマツテ、御差支ガゴザイマセウカ、私共ノ考デハ、サウ不都合ハナイト思フ、寧ロ總テノ方法ヲ設備ハ、一部ニ餘リ關係ヲ置カズシテ、全體ニ對シテ總テノ條項ヲ立アラレルヤウニ思ヒマスカラ、此一部ト云フコトヲ廢シマシテ、差支ガアリマセウカト云フコトヲ、全體ニ於テ承リタイ

○政府委員一木喜徳郎君 一部ヲ以テ別ノ財團ト致シマスルコトハ、昨日申述ベマシタ通、一ノ便法ノ積テ、設ケタノデアリマシテ、全體ニ於テハ全部ヲ以テ財團ト致ス場合ガ多カラウト云フコトハ、初メヨリ想像致シテ居リマスガ、併ナガラ鐵道會社ノ或線路ニナリマシテハ、年期モ獨立ニナッテ居ル、從ッテ主務官廳ニ對スルコトハ、若クハ他ノ官廳ニ對スルコトハ、義務モ、明確ニ區別シテ、定テ居ルモノモアラウト考ヘマス、ツレカラ又會社ガ合併等致シマシテ、前ノ會社ノ時分ニ有ッテ居リマシタ線路ハ、各別ノ線路トシテ、働フナスヤウナ設備モ、備ッテ居ル場合モゴザイマセウト思ヒマス、又今ノ帳簿ノコトニ就キマシテハ、是ハ成程一會社トゴザイマスレバ、總舩通シテ出來テ居ル場合ガ多イデゴザイマセウケレドモ、併ナガラ別財團トスル目的ヲ有チマス場合ニハ、ツレ等ノ帳簿ニ或ハ會社ニ於テ、別ニスルコトニフ必要ガ生ジテ參ラウト思ヒマス、多クノ場合ニ於テハ、全部ヲ以テ財團用ト致スコトニナリマセウガ、一部ガ財團トナラヌコトモアリマス、其區別ガハッキリ致サヌ場合ニ於テ、金ヲ貸シマスル方モ、安心シテ貸スト云フヤウナコトハアリマスマイカラシテ、事實ニ於キマシテハ、全ク別ノ鐵道トシテ用ノナスモノニノミ付イテ、此通用ガアルコト、考ヘマス、ツレデハ設ケル方ガ便利デアラウト云フ趣意ハ、昨日モ述べタ通、全部抵當ニ致シマシテ、或ハ一番抵當ニ番抵當ト云フ途モゴザイマス、併ナガラ左マデ大キクナイ金額ノタメニ——全部ノタメニ財團ヲ拵ヘ目録ヲ調成スルトカ云フ、イロノノ煩雜ナ手續ガアリマスカラ、ツレ等煩雜ヲ避ケルタメニ、一部抵當ト云フ場合モ、會社ニ於テ便利デアラウト思ヒマス、ツレカラ又金額ハ外國カラデモ借リルヤウナ場合ニ於テハ、僅カナ金額ヲ借リルト云フコトハ、アリマス、此方法ハ内地ニ於テ負債ヲ起ス場合ニモ、適用ガアリマスカラ、會社ノ全體ノ鐵道ヲ擧ゲテ、抵當トスルマデノ必要ノナイ場合モ、事實上隨分少クナイデアラウト考ヘマシタ譯デアリマス、要スルニ全部又ハ一部トゴザイマスカラ、或ハ缺グベカラザル規定デアルト云フマデノ、考デアリマセヌケレドモ、少クモ便利デアラウト云フコトヲ、設ケマシタ所以デアリマス

○恆松隆慶君 大舩ハ異論ハナインデアリマスガ、思ヒタニ質問シマス、ドウモ手間取リマスルカラ、逐條の二質問ヲシテ貫ヒマスレバ、却ア此案ノ進行上、親切ニシタコト、ナリマスカラ、サウ願ヒタイ

○委員長望月右内君 サウ心得テ居リマス、御便利ノタメ條ヲ逐ッテ質問シテ往キマセウ、一條カラ二條迄ヲ質問下サルヤウニ……

○奥田義人君 チョット二條ニ付イテ、今一應承テ置キタイデスガ、今板東君カラ御質問ニナリマシタト同ジヤウナ趣意デアリマスガ、政府ノ御考ヘデハ、畢竟一部ト云フコトニ付イテハ、便宜上ノ規定トシテ、小負債ヲ起セバ、全部ノ鐵道ヲ抵當ニ入レルナド、云フ必要ガナカラ、ソレデ一部ト云フコトヲ、設ケタト云フダケノ趣意デアリマセウカ、或ハ又他ニ理由ガアリマセウカ、其邊ヲ一應承テ置キマス

○政府委員 一本喜徳郎君 唯今御話ノ通、便利ノタメニ設ケダデアリマス

○奥田義人君 サウシマス、二重抵當デス、二重抵當モ無論爲シ得ラレル、此途ガアルニモ拘ハラズ、尙一層斯ウシテ置イタラ便利デアラウト云フデアリマス

○政府委員 一本喜徳郎君 サウデアリマス、其便利デアルト云フ所以ハ、唯今述べタ通、二重抵當ニ致シマシテ、兎ニ角鐵道ノ全部ヲ抵當ニ致シマス、其全部ニ涉テ目錄モ拵ヘナケレバナラス、其目錄ノ變更ノ時モ、餘程手數ヲ要スル、又其財團ニ屬スルモノ、處分デアルトカ云フヤウナコトニ就キマシテモ、抵當權者ノ意見ヲ聞カナケレバナラヌト云フヤウナ、イロ／＼ナ手數ヲ要シマスカラ……

○奥田義人君 今一應伺テ置キタイデスガ、此競制管理トカ、競賣トカ云フヤウナ場合ニナルト、種々ノ計算ナク、帳簿ナク、總テ別ニサセテ置カスト云フト、到底行ハレヌコトニナラウト想フシ、又競賣ノ時ナドニナルト、詰リ會社ガ二ツニ分レルト云フヤウナ結果ヲ、生ズルヤウニ思ヒマス、ソレガ一部抵當ノ時ニハ、初メカラ帳簿計算其他一切ノモノヲ、別々ニサセテ置イテ、サウシテ會社ガ何時デモ分レ得ル途ヲ、御立テニナルト云フ御精神デスカ

○政府委員 山之内 一次君 今實行上ノコトニ付イテ、奥田君カラ御話ガアリマシタガ、多少不便ナコトハアリマセウケレドモ、強制管理ノ起ツタ時分ニ、之ヲ引直スコトモ出來ヤウト思フデアリマス、收入ノコトハ、第三條ノ鐵道財團組成ノ中ニ這入ッテ居リマセウカラ、收入ノコトマデ、平日區別シテ置ク必要ガナカト思フデアリマス

○板東勸五郎君 私モ唯今ノ二條ニ付キマシテ、收入其他ノコトハ、恐ラクハ平日カラ分割シテ置クコトノ、出來ヌモノデアラウト思フデアリマスガ、ソレハ尙先ノ條デ伺ヒマセウ

○政府委員 山之内 一次君 全ク出來ヌト云フコトハ、言ヘヌデアラウト思ヒマス、現ニ日本鐵道ガ補給ノ區域ニ付イテハ、收入ヲ別々ニシテ置クデアリマス、隨分面倒デアハアリマスガ、大軀極マリ付ケテ、區別ヲ付ケルコトハ、全ク出來ヌコトハナカラウト思ヒマセウケレドモ、平日ソレデケノ面倒ナコトヲサセテ置クコトハ、三條ノ組成ノ中ニアリマセウカラ、必要ハナカラウカト思フデアリマス

○板東勸五郎君 如何ニモ、日本鐵道アタリハ、今區劃ヲ立テ、其區域ニ依ッテ、國庫カラノ補助ガ違ッテ居リマスカラ、ソレニ對スル收入等ノ區別ハ、出來テ居リマス、併ナガラノ區別ハ、果シテ抵當權者ガ、承知スベキ確實ナ收入ノ區別トハ、認メラレナイ、アノ收入ノ區域ナドヲ以テ、直ニ將來ノ權利ヲ履行スベキ、一ツノ收入物ト認メルコトハ、抵當權者ニ於テ、首肯スルコトガ出來ヌデアラウト考ヘマス、アレハ所謂ホンノ割合デ、或區域ハ何朱、或區域ハ何朱ト云フ、補給ノ割合ヲ拵ヘタニ過ギヌコトデ、アルガ果シテ收入上ノ事實ニ當ッテ居ルカ、ドウカト云フコトハ、攻究シナケレバナラヌコト、

思ヒマス、ソレハ先ノ箇條デ、尙伺ヒマスガ、ソレカラ第三條ニ於キマシテ、總テ一二三四ト云フヤウニ、ズット箇條ヲ列記シデアリマスガ、然ルニ此ノ第一號ノ鐵道線路其他ノ鐵道用地及其上ニ存スル工作物、竝ニ是ニ屬スル器具機械ト云フコトガアリマス、此鐵道用地ト云フモノハ、一ツノ私設鐵道法ト云フ法律ヲ以テ、斯ノ如キ種類ノモノハ、鐵道用地デアルト云フコトガ極ッテ居ルデアアル、サウスレバ此第二號ノ如キ、其他ニ於テモ、カリソメニモ鐵道營業ノ設備ニ必要ナモノハ、皆鐵道用地ト云フニ造ラシタ工作物ト、一號デ規定スレバ、其他ノモノハ自ラ此中ニ包含サレラウト思ヒマス、ソレヲ列記シテ箇條々々ニ分ケタノハ、自ラ名義ナリ其他ノ權利ナリ、違フカラト云フ譯ナンデスカ伺ヒマス

○政府委員 山之内 一次君 唯今板東君カラノ御話ノヤウニ、多クノモノハ、鐵道用地ニ第二號ノモノモ含シデアリマセウガ、鐵道法デハ第二號ノモノハ、悉ク鐵道用地ニ含ムト云フコトハ、ナッテ居ラヌデアリマス、現ニ私設鐵道法ノ第四十一條ノ鐵道用地ノトコロノ第四號デ、工場倉庫ニ付イテモ、線路ニ沿ヒタル土地ダケハ、鐵道用地ニナッテ居ルノデ、離レテ居ルモノハ、必シモ鐵道用地ト云フモノニ這入ラヌデアリマス、ソレカラ又事務所ノ如キハ、現ニ鐵道用地ニ這入ッテ居リマス、ソレカラ社宅、是ニモ種類ガ二ツアリマス、即チ私設鐵道法ノ四十一條ノ三號ニゴザイマス、鐵道構内ニ職務上住所ヲ要スル鐵道員ノ社宅ト云フモノハ、御話ノ通、第三條ノ第一號ニ這入リマスケレドモ、例ヘバ九州鐵道ナドニアルヤウナ、社長ノ社宅トカ云フヤウナ、鐵道用地ヲ離レタ所ニハ社宅ハ在リ得ルデアリマス、サウ云フ譯ニナッテ居リマスカラ、必シモ鐵道用地ダケト云フコトニ、限ッテ居ラヌデアリマス、ソレデ此所ニ分ケタデアリマス

○奥田義人君 此第三條ノ收入其他會社ニ屬スルところノ、權利債權ナドト云フヤウナ類モノガ、掲ゲテナイコトニ就キマシテハ、昨日質問ヲ致シマシタガ、此事ニ關シテハ、數年前ヨリ實業家ノ重モナル人々ガ、ドウシテモ其收入ガヤハリ擔保ノ目的物トナッテ居ラヌト云フト、外資輸入ノ上ニ、大ナル差支ヲ起スト云フコトデ、屢々其意見ヲ承ッタコトモアリマスガ、ソレ等ノコトニ付イテハ、政府ノ方デハ更ニ必要ガナイト云フ御考デアアルデスカ、或ハ又モウ時モ大分經ッタモノデ、數年前ノ實業家ノ意見ハ、今日變ッテ來タト云フヤウナ譯ニナッテ居ルモノデアリマセウカ、其邊ヲ一應伺ッテ置キタイ

○政府委員 山之内 一次君 收入ヲ之ニ掲ゲデアリマセウノハ、昨日法制局長官カラ、申述ベマシタヤウデゴザイマスガ、必シモ此資金ノ供給ヲ仰ギマスニ付イテ、收入ガナケレバナラヌト云フコトハ、實業界ノ狀態ニ付イテモ、是非必要デ、ソレガナケレバ出來ナイト云フコトダケハ、認メテ居リマスノデゴザイマス、サウシテ又抵當權者ノ方ハ、平日ニ於キマシテハ、相當ノ支拂ヲ受ケサヘスレバ差支ナイ、ソレヲ怠ル時分ニハ、強制管理ノ途モアリマスカラ、必シモ收入ヲ置カナケレバナラヌト云フ必要ハ、認メマセヌデアリマス

○奥田義人君 收入ヲ置クコト云フコトニ付イテハ、何カ害ガアルノデスカ、差支ガアルノデセウカ、其邊モ一應……

○政府委員 吉村源太郎君 此鐵道財團ニ、收入デアルトカ、其他ノ債權者デアルモノヲ、總テ網羅スルコトニ致シマス、此鐵道會社ニ對スル債權者ト申シマスノハ、獨リ抵當權者バカリデナイ、先取得權ヲ有ッテ居ルモノデアリマセウシ、又單純ノ債權ヲ有ッ

テ居ルモノモ澤山アル、サウ云フモノト、抵當權者トガ、互ニ權利ガ競合シタ場合ニハ、ドウスルト云フ問題ニナツテ參リマスカラ、其點ニ就キマシテハ、此法案デハ成ルベク抵當權者ト、他ノ權利トカチアツタ場合ニ、其間ニ有力ノ規程ヲ設ケル面倒ノナイヤウニ、即チ第四條ニ於キマシテハ、鐵道財團ニ屬スルモノハ、他ノ權利ノ目的トナルコトガ出來ナイモノデアアル、此鐵道財團ナルモノハ、單ニ抵當權者ノミニ存スルモノデアアルト云フコトニ致シマシテ、成ベク抵當權者ト、他ノ權利トノ争ヒノナイヤウニ、致シタノデアリマス、所ガ財團ノ中ニ、總テノ權利ヤ收入ガ這入リマスルト、四條ノ規定カラ參リマシテ、抵當權者ハ總テノモノニ向ッテ、權利ヲ行フコトガ出來ルガ、其他ノ權利者ノタメニ、ヤハリ鐵道財團ノ範圍ヲ、第三條ニ掲ゲタルモノニ限ル必要ガ、アラウト云フ考デゴザイマス

○奥田義人君 ソレハ規定ヲ設ケルノガ、煩シイト云フ御趣意カラ、御除キニナツタヤウニ承ハリマスガ、果シテサウ云フ御趣意デアリマスガ、權利ノ競合ラス場合ニハ、本法ノ外ニモ抵當權ト他ノ債權ト、競争ト云フモノハ有リ得ルノデ、ソレニ付イテハ處理ノ途ガナイ、處理ノ規定ヲ作レバ、作レヌコトハナイガ、左様ノ規程ヲ設ケルノハ、甚ダ煩ハシイカラ、除イタト云フ御趣意デアリマスガ

○政府委員吉村源太郎君 鐵道財團ヲ設ケマスルニ付イテハ、趣意ガ二ツアルガラウト思ヒマス、ソレハ總テノ權利ノ目的ノ上ニ、鐵道財團ヲ設ケマス、語ヲ換ヘテ言ヘバ、先取特權ガ出來ルト云フノガ、一ノ目的デゴザイマス、又鐵道財團ノミニ之ヲ設ケルノモノ、一ノ目的デゴザイマス、此第二ノ方ヲ採リマシタノデゴザイマス、外ノ權利者ガ鐵道財團ヲ差押ヘルト云フヤウナコトモ、出來マセヌシ、又他ノ權利者ガ財團デハナイ、財團ヲ組成シテ居ルモノヲ目的トシテ、權利ヲ行フヤウナコトガアリマスルト云フト、抵當權者ノ權利ハ、侵害サレルコトニナル、ソコデ財團ハ唯抵當權者ノミニ存スルト云フ主義ヲ採リマシタ結果、外ノ權利者ガ權利ヲ行フ途ヲ付ケテヤラナケレバナラヌト云フコトカラ、第三條ヲ規程致シマシタノデゴザイマス

○板東勘五郎君 第三條ノ第七項デスガ、昨日段々伺ヒマシタ問題デアリマシタガ、此法人ノ有スル器具及機械其他煉瓦「レール」ノ如キ、皆法人ノ使フ材料デアリマスガ、是等ノモノハ最モ浮動シ易キ性質ニ屬シテ居リマス、昨日ノ御辯明ニ依ルト、其年代ヲ以テ變更更シテ往クト云フ、御説明ノヤウデアリマシタ、如何ニモ煩雜ヲ避ケルタメニ、サウ云フコトニナルカ知レマセヌガ、段々先キヲ調ベマスルト、所謂財團ノ目錄ニ書イテアルモノ、變更ハ、遲滞ナクソレヲ登錄セヨト云フ箇條ガアルヤウニ、三十四條デゴザイマスガ、見受ケマシタノデゴザイマス、サウシマスルト、一本ノ「レール」ヲ使ッテモ、ソレガ即チ財團目錄ノ變更トシテ、三十四條ノ精神ニ依ッテ、直チニ居ケナケレバナラヌト云フヤウナ、煩雜ガアルガラウト思ヒマスガ、サウ云フコトハ……

○政府委員山之内一次君 ソレハ此鐵道財團ノ目錄ニ關シマスルトコロノ細則ハ、主務大臣之ヲ定ムルト云フコトガ、三十九條ニアリマスカラ、是ニ依リマシテ、財團目錄ノ設ケ様如何ニ依ッテ、其煩雜ハ避ケ得ラル、積デアリマス

○板東勘五郎君 財團目錄ノ作リ様ニ依ッテ、煩雜ヲ避ケ得ラル、ヤ否ヤガ、此法ヲ制定スルニ付イテ、多少ノ關係ヲ有ッ譯デアリマスガ、ドウ云フ風ニ御作リニナツテ、此

煩雜ヲ避ケマスルカ

○政府委員山之内一次君 法制局長カラモ、御答辯致シマシタ通、マダ十分ノ成案ト云フモノハゴザイマセヌケレドモ、昨日法制局長カラ御話シタ通、財團目錄ヲ變更スル時期ヲ、目錄ニ書イテ定メテモ、一年ニ一回ナリ二回ナリ、其變更ノ時期ト云フコトニスレバ、サウ面倒ナコトニハナラウトハ思ヒマセヌガ、是ハ餘程困ルト云フ考デアリマス

○委員長望月右内君 據ナキ事故ガアリマシテ、私ハ暫時缺席致シマスカラ、理事ノ神崎君ニ、委員長席ニ著カル、コトヲ懇請致シマス

(委員長望月右内君退席、理事神崎東藏君委員長席ニ著ク)

○板東勘五郎君 唯今ノ御説明ハ、自ラ先ノ三十四條ノ解釋ニ關係シマセウカラ、三十四條ニ付イテ更ニ伺ヒマス

○奥田義人君 第三條ニ掲ゲタル物ヲ以テ、鐵道財團ヲ作ジテカラ後、若シ其處ニ數個ノ鐵道財團ガアリマス時ハ、是等ノ土地物件ハ、兩方ニ共通シテ使用スルコトハ、更ニ差支ナイト云フ御見込デスカ

○政府委員山之内一次君 ソレハ差支ナイ積デアリマス、今日デモ他ノ會社ノ物ヲ以テ、此方デ使ヒ、此方ノ物ハ彼方デ使ウト云フコトモ、自由ニナツテ居リマス

○奥田義人君 今日デハ勿論ヤデ居リマスガ、抵當權ガ設定セラレテ、是ガ抵當權ノ目的物トナツタ場合ニ於テ、甲ノ財團ニ屬スルモノ車輛其他ノ器具機械ヲ、乙ノ軌條ノ上ニ使用スルコトヲ許シマスレバ、或ハソレガタメニ、早ク物質ガ毀損シテシマウトカ云フコトモ、生ジテ來ルト考ヘマスガ、是等ハ一向構ハヌ、今マデノ通デ抵當權設定ノ後モ、ヤラレルト云フ御見込デスカ

○政府委員山之内一次君 御話ノ通、ソレハ少シモ差支ナイ、重モニ他ノ部分ニ入ルハ、車輛ガ重モアルト思ヒマスガ、車輛ハ今日ノ組織デハ、事實ハ其後ニナリマセヌト分リマセヌガ、先ヅ不滅ノモノトナツテ居リマスノデ、「レール」ノ如キモ多少、他ノ事ガ財團ヲ組成シテ居ル内ニ入ルト、磨滅スルコトモナイトモ言ヘマセヌガ、ソレハ僅カノモノデアツテ、互ニ共通シマスカラ、差支ナイ見込デアリマス

○理事神崎東藏君 一條カラ三條マデニ付イテ、御質問アリマセヌカ——他ニ御質問ガナケレバ、チヨット私カラ二三御問シタイコトガアリマスガ、第三條ノ第一項カラ第七項マデ列記シテアツデ、其三條ノ明文ニハ「左ニ掲グルモノハ云々」鐵道財團ナルモノハ一カラ七マデノ種類ノモノガ、總牒揃ハナケレバ、財團ニナルコトハ出來ヌ意味アルカ、其中ノ一ツダケデモ宜イ、其中ノ或部分デモ宜イト云フコトニナリマスガ

○政府委員山之内一次君 是ハ一ノ鐵道ニ、悉ク是ダケノモノガ、必ズ揃ッテ居ルト云フコトハナイノデ、例ヘバ日本鐵道ナラバ日本鐵道ノ總テヲ入レマストキハ、日本鐵道ニ屬スルダケノ、茲ニ掲ゲタル物ハ、悉ク入レルト云フコトニナリマスノデ、茲ニ掲ゲテアツデモ、無イノハ入リマセヌガ、有ルノハ入ルデアリマス

○理事神崎東藏君 サウスルト、例ヘバ第二ノトコロニ發電所ト云フガアル、若クハ事務所、其發電所若クハ事務所ダケヲ以テ、財團ニスルコトモ出來ルト云フ意味モ、有リマスガ

○政府委員山之内一次君 ソレハ含ンデ居リマセヌノデ、日本鐵道ナラバ日本鐵道、

モット詳シク申セバ、上野カラ青森マデ、ツレニ屬スル物ハ、總テノ物ヲ含ムノデアリマス
○理事神崎東藏君 第二條ノ一部ニ付イテ、財團ヲ設ケルト云フコトニ付イテハ、先
程カラ板東君、奥田君カラノ適切ノ御質問ガゴザイマスガ、一鉢一部ニ付イテ財團ヲ
設ケルト云フ場合ガ、有リ得ルト云フコトヲ、政府デハ見込テ御着ケニナデ居ルヤ否ヤ、
現在ノ日本ノ各私設鐵道會社ノ鐵道線路ノ上ニ於テ、一部ヲ切テ財團ニ爲シ得ラ
レ得ルト云フコトモ、ヤハリ御見込ガ著イテ居リマスカ

○政府委員山之内一次君 前段ノ御尋ハ、是ハ場合ニ依ッテハ、有リ得ハシナイカト
思フノデアリマス、例ヘバ九州鐵道ニ於テノ拂込ノ株金ノ金額ハ、四千七百萬元ト云
フ大キナモノデアリマスガ、今社債ヲ募ル認可ヲ受ケテ、未募集ノモノガ六百萬圓アル、此
場合ハ九州鐵道總テノ物ヲ入レルヨリ、此中ノ唐津線ノ中トカ、一部分ヲ入レルト云フ
方ガ、前カラ御話シタ通、大變便利ノ場合ガアラウト思ヒマスノデ、日本鐵道ニシテモ、
四千八百萬圓ノ資本デアリマスガ、サウ澤山要シナイ時ハ、兩毛線ダケ入レル、海岸線
ダケ入レルト云フコトガ、便利ノコトデアラウト思ヒマス、後段ノ御尋ハ、元々一部分ノ
鐵道財團ヲ設ケルトコトヲ許スト云フコトモ、其一部ガ別ニ獨立シテデモ、鐵道トシテ營
業ガ出來得ルト云フ範圍内ノ目安ニシテ、許ス積デアリマシテ、又物ニ依リマシテハ、日
本鐵道ノ兩毛線ノ如キ、別ニシテモ、隨分場合ニ依ッテハ、獨立ノ營業ヲ爲シ得ルノデ
アリマス

○理事神崎東藏君 第二條ノ第三項「一箇ノ物ト看做ス」トアル、物ト云フノハ、動
産デモ不動産デモナイ、唯物ト見ルト云フ御意義ノヤウニ解釋シテ宜イカ、寧ろ是ハ他
ノ法律ノ關係モイロノ、アルノデアリマスカラ、思ヒ切ッテ物ト云ハズニ、不動産ナラ不
動産ト見做スト書イテ、差支ナカラウト思ヒマスガ、何故ニ一箇ノ不動産ト見做ストセ
ズニ、物ト云フコトニシタノカ、其理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員吉村源太郎君 是ハ物ト見做スト書キマシタノハ、無論不動産トモ動産
トモ致シマセヌガ、是ハドウ云フ必要ガアッテ、一箇ノ物ト見做スト書イタカト云フト、鐵
道財團ノ所有權ヲ認メルノハ、物ノ上ノ權利デアアル、權利ノ上ニ存シナイ財團ノ中ニハ、
動産モ不動産モ一緒ニ集メテ、ツレバ無形ノ塊リト見マスカラ、其上ニ所有權ガ存ス
ルヤ否ヤト云フコトハ、一ノ疑問デアラウト云フ考デアリマス、之ヲ物ト見做シマシタノ
ハ、其趣意デゴザイマス、ツレカラ何ゼノヲ不動産ト、書カナカッタカト云フコトニ就キマシ
テハ、要スルニ不動産ト書ク必要ガナカッタノデアリマス、ト申シマスノハ、若シ此法案
ニ於キマシテ、抵當權ノ規定ハ民法ノ規定ヲ準用シマスツカ、第三者ニ對抗スルコトニ
付イテハ、登記ノ上ニ就キマシテ、不動産ノ規定ヲ準用スルツカ云フ、外ノ法律ヲ準用
スル關係ガゴザイマスカラ、或ハ不動産トスル必要ガゴザイマセウガ、此物ハサウデナイ、民
法ノ抵當權ニ關シマスル規定ノ一部ヲ以テ移シマスシ、又不動産登記法ノ規定ハ、適
用致シマセヌデ、新タニ別ニ登録ト云フ章ヲ置キマシテ、第三者ニ對抗スルコトニ付イテ、
規定ヲ設ケマシタノデアリマスカラ、特ニ之ヲ不動産トスルツカ、動産トスルツカ云フ必
要ガナイモノデアリマスカラ、單ニ物ト規定シタ次第デアリマス

○理事神崎東藏君 外ニ御質問ガゴザイマセネバ、第四條カラ十條マデ
○板東勘二郎君 是ハ私ノ見誤リカ知リマセヌガ、第四條ノ三號ニ鐵道財團ニ屬ス

ヘキモノニシテ所有權以外ノ物權登記シタル賃借權云々」ト書イデアリマス、又貴族院
ノ修正ハ「又ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動産」ト書イデアリマス、是等ノ目的物ニナッ
テ居ル以上ハ、鐵道財團ヲ設ケルトコトヲ得ナイト云フ制裁ノ箇條ニナッテ居ル、若シ此目
的物ニシマシテ、物權ニシマシテモ、一部ノ物權ガ斯様ナ如キ目的物ニナッテ居リマシテ
モ、所謂財團トシテ、將來ノ營業上ニモ差支ナイデケノモノガ、出來ルトシマシテモ、是
ハ財團ヲ設ケルトコトガ出來ナイト云フガ如キヤウニ、解釋スル譯デアリマスカ、如何デア
ザイマセウ

○政府委員吉村源太郎君 御答シマスガ、此條ヲ設ケマシタ趣旨ハ、第三條ニ關聯
シテ居リマス、鐵道財團ニ屬スヘキモノト云フノハ、第二條ニ書イデアッテ、第三條ニ掲
ゲデアリマスノハ、先程申シマシタ通ニ、是ダケノモノガ備ッテ居ル以上ハ、當然財團ニ這
入ルベキモノデ、其中ノ一二ヲ除外シテ、財團ヲ設ケルトハ出來ヌト云フ趣意デアリ
マス、其中ノ一二ノ僅カナモノヲ以テ、財團ヲ設ケルニ、事實上差支ナイト認メタニシテ
モ、財團ヲ設ケルトコトハ、出來ナイト云フ精神デス

○板東勘二郎君 ツレハ何カ抵當權ノ保證ツカ、何トカ云フコトニ、御差支ニナルガタ
メ、此制裁ヲ加ヘタノデアリマスガ、若シ事實カラ申シマスツ、極ク些末ノ物權ニ對シ
テ、此箇條ニアルガ如キ、一ノ權利ノ目的物ニナッテ居リマスガ故ニ、全體ノ財團ヲ設ケ
ルコトガ、出來ヌト云フコトハ、如何ニモ檢束シ過ギタ如キ感ヲ起ス譯デアリマス、其他
ノ目的物ニナッテ居リマスツコロモノガ、抵當權ヲ設定スル上ニ就キマシテ、サウ重要ナ
關係ヲ保タヌコトナラバ、私共ノ考デハ、許シタ方ガ便利デアラウト思ヒマスガ、サウ云フ
コトハ何カ差支ガアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 御尤ナ御問デアリマスガ、此案ノ趣意ハ、第三條ニ規定
シデアリマス通ニ、是ダケノモノヲ、ドウシテモナケレバナラヌモノデアアル、斯ウ云フ風ニ、第
三條ニ於テ、鐵道財團ニ屬スヘキモノ總テ網羅シテ、是ダケノモノナラ、屬シテ宜シイ
ダケガ鐵道營業ニ重要ナモノデアルト云フ、重モナルモノヲ一號カラ七號マデ列記致シマ
シタ結果、即チ第三條ニ於テ檢束致シマシタ結果、第四條ノ三號ニ於キマシテ、若シ
其中ニ一ツデモ、他ノ物權ノ目的デアルモノガアッタナラバ、財團ヲ設ケルトコトガ、出來
ヌト云フ甚ダ便利ノ上カラ申シマスツ、窮窟ナヤウナ規定ノヤウデアリマスケレドモ、第三
條ニ於テ重要ナモノヲ擧ゲマシタ結果、三號ヲ設ケマシタ次第デアリマス

○板東勘二郎君 唯今ノ御説明ニ依リマスツ、詰リ法ヲ立デマス精神ノ上カ
ラ、已ムナキ結果ニナッテ居ルト云フ、御説明デアッテ、茲ニ假ニ一ノ不用ナモノニ對シテ、
除外例ヲ置キマシテモ、法律ノ効力竝ニ擔保權設定ノ上ニ對シテハ、サシタル影響ヲ來
サヌト云フ、御説明ノヤウニ承リマシタ、私ハ是ハ餘程憂フル、第三條ニ列記シテ置キマシ
タモノガ、必シモ鐵道ノ營業上ニ、必要ナモノバカリヲ、羅列シテナイト思ヒマス、或鐵
道ニ或モノガアル、或鐵道ニ於テ贅澤ナ工作物ヲ拵ヘテアルモノガアル、例ヘバ或鐵道ニ
ハ社長ノ住宅ガナイ、或鐵道ニハ社長ノ住宅ヲ、別ニ拵ヘテアル、其社長ノ住宅ガ物
權上ノ目的トナッテ居レバ、鐵道ノ營業上ニ何モ關係シナイガ、他ノ物權ノ目的トナッ
テ居ルガタメニ、總テノ財團ヲ組織スルコトガ出來ヌト云フ、窮窟ナモノニナルカト云フ考
ヲ有ッテ居リマスガ、唯今ハ質問ノ時期デアリマスカラ、其御趣旨ダケヲ承ッテ置キマス

トニ致シマス

○政府委員吉村源太郎君 尙唯今ノ御答ニ、不十分ナトコロガアリマスカラ、申シマスガ、若シ之ヲ極ク些細ナモノデアリカラ、些細ナモノノ上ニモ、尙權利ガ存スルカラ、財團ヲ設ケルニ差支ナイト云フコトニナツタナラバ、ドウ云フ結果ニナルカト申シマス、其他ノ權利ノアルモノガ、財團ニナリマシタ結果、若シ他人ガ權利ヲ行ツタラドウスル、勿論抵當權者ノ眼中ニハ、些細ナモノノガ、ソレダケノ財團ノ價值ガ減ズルコトニナリマスカラ、抵當權者ニ不安ヲ抱カシメハシナイカト云フコトノ、一ノ理由デゴザイマス

○板東勘五郎君 唯今ノ御説明ハ、是ヲ財團ニ入レマシテ、明文上カラノ御説明デアリマスガ、財團ノ中ニ入レナケレバ、唯今ノヤウナ御懸念ハナイト思ヒマス

○政府委員吉村源太郎君 勿論サウ云フ些細ナモノハ、財團ノ中ニ入レナイ趣意ヲ取リマスレバ格別デスガ、第三條ノ趣意ヲ認メマス以上ハ、斯ウシマセスト、抵當權者ノ權利ガ、多少害セラレヌカト云フデアリマス

○板東勘五郎君 チョット修正第七條デスガ、文章ノ上デ「抵當設定ノ認可ヲ申請スルニハ」ト云フコトニ書イテアリマシテ、大抵私設鐵道法律案ニハ、主務大臣ニ差出セトナツテ、所管ノ官廳ヲ明記シテアリマスカラ、是ハ主務官廳ニ抵當權設定ノコトモ出スデアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 其趣意ハ、第七條ニ書イテアリマス

○奥田義人君 第七條ノ一號ニ、「抵當債權者債務者及鐵道財團ノ所有者ノ名稱及住所」トアリマスガ、債務者鐵道財團ノ所有者トアリマスノハ、鐵道財團ノ所有者モ會社デアル、債務者モ又常ニ會社デ、私設鐵道法ノ上カラ、會社ニナルベキモノデアルト云フ御趣意ノヤウニ、承知ヲ致シマスガ、シマヒノ方ノ四十三條ノ第一號ニハ、特ニ「債務者タル會社」ト、斯ウ云フコトガ載ッテ居リマス、雙方合セテ見マスト、七條ノ債務者ト云フハ、唯此法律バカリニ依レバ、一箇人デモ債務者ニナリ得ベキ感ジラ起ス、ソレカラ四十三條ノ一號ニ依ルト、債務者タル會社ハアルカラ、債務者ハ常ニ會社デアルト云フコトガ、自カラ分ルヤウデアル、是ハナゼ斯ウ云フヤウニ、御書キ違ヒニナツタモノデスカ、何カ別段ノ理由ガアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 七條ハ、會社以外ノモノヲ包含ムヤウニ見エマスガ、立案ノ趣意ハヤハリ會社デアリマス、七條ト四十三條ト書分ケマシタ理由ハ、別段何ニモナイノデスガ、唯四十三條ニ於キマシテハ、債務者タル會社ノ商號及本店ノ所在地ト云フ風ニ、商號トカ本店トカ云フコトヲ書キマシタ、言葉ノ上カラ會社ト云フコトヲ、附加ヘタニ過ギマセヌ、併シ立法ノ趣意ハ、雙方共會社ノ積デアリマス

○奥田義人君 七條ノ一號ノトコロモ、ヤハリ其理由カラ申シマスト、名稱ナド、云ツテモ一箇人ナラバ名稱ト云フヨリモ、氏名トアルベキヲ債務者ノ名稱ト云ヒマスレバ、ヤハリアカシコトニナルヤウデアリマスガ、四十三條ニ商號ト云フコトヲ書クタメニ、特ニ書イタト云フナラバ——此處ニ會社ト書クナラバ、七條デモヤハリ會社ト書カナケレバ、釣合ガ惡ルイヤウデスガ、ドンナモノデセウ

○政府委員吉村源太郎君 此點ハ別ニ深イ理由モアリマセヌ

○奥田義人君 第九條ニ付イテ承リタイ、九條ニ依ルト「前條第二項ニ依ル公告ヲ

爲シタルトキ又ハ抵當權ノ設定認可ノ申請ヲ爲タルトキハ鐵道財團ニ屬スヘキモノハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス」トアリマスガ、此御趣意ハ財團目錄ニ書出シタモノハ、抵當權設定ノ認可ガアルトカナイトカ極マルマデハ、他ニ讓渡スコトガ出來ヌト云フ御趣意ノヤウデスガ、サウデアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 サウデス

○奥田義人君 サウ致シマスト、抵當權設定ノ認可ニナルトカ、ナラヌトカ云フコトノ極マリマス間ニハ、數月間掛リマスガ、其間ニ若シ鐵道ノ營業上、是非ナクテハナラヌ、例ヘバ機關車ガ壞ハレタトカ云フヤウナ場合ガアツデモ、壞ハレタ機關車モ賣ラセズト云フ譯ニナルノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 壞ハレタト云ヒマシテモ、全ク無クナツタ場合ハ兎ニ角デスガ、現形ガ殘ッテ居ルトカ、又ハ使用ニ堪ヘルトキハ、「財團ニ屬スルモノ」ト云ヒ得ルカドウカト云フコトハ、解釋問題ダラウト思フデアリマス

○奥田義人君 サウ云フ場合ハ、申請中目錄ノ訂正ヲ許ス御精神デスカ

○政府委員吉村源太郎君 申請中目錄ノ訂正ハ、滅失毀損ノ事實ガナクテモ、サウ云フ申請ハ爲サシメル積リデス

○奥田義人君 サウスト、古イ物ヲ讓渡シタトキニ、目錄ヲ訂正サセレバ差支ナイ譯デスガ、何故ニ禁ズルノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 唯今御話ノヤウナ、已ムヲ得ナイ場合——毀損シテ賣拂フヤウナ場合ハ、措置イテ、兎ニ角是ダケノ物ヲ以テ、鐵道財團ヲ拵ヘルト云フコトヲ申請シテ居ル、然ルニ其後讓渡ガ出來ルトスト、官廳ニ提出シタ目錄ノ一定ト云フコトヲ、期シ得ラナイ、成ベク申請ノ當時ト、主務官廳ノ認可ノ當時ト、財團目錄ニ變更ノナイヤウニスルタメニ、此規定ヲ設ケタイデアリマス

○奥田義人君 自分ノ考デハ、既ニ目錄ノ訂正ヲ御許シニナル以上ハ、例ヘバ目錄ノ上ニ、甲ナル機關車ト書イテアッタノヲ、ソレニ換ユルニ乙ナル機關車ヲ以テシタト云フヤウナトキニ、代リノ物ハ目錄ノ中ニ這入ッテ居ルカラ、拵ハヌヤウデスガ、ソレマデモ禁ジナケレバナリマセヌカ

○政府委員吉村源太郎君 八條ニ關聯致シマスガ、八條ハ一定ノ期間内官報ヲ以テ廣告シテ、申請ニナリマシタ財團目錄ニ書イタ物ニ關シ、權利ヲ以テ居ルモノニ對シ、申出ヲ致サセマス、然ルニ會社ガ財團目錄ノ變更ヲ始終出スト、其度毎ニ廣告ヲ出サナケレバナラヌ、ソレカラ廣告期間ハ少クトモ一箇月トナツテ居リマシテ、主務官廳ガ認可スル時日ガ延ビ々々ナリマス

○奥田義人君 鐵道財團目錄モ此廣告ニ御示シニナル譯デスカ

○政府委員山之内一次君 目錄ヲ其儘示スト云フ必要ハナイカト思フデアリマスガ、其邊ノトコロハ目錄ヲ定メルコトニ、餘程關聯シテ居リマスカラ、今マデニ直チニ斯ウト云フ確定シタコトハ、申シ上グルコトハ出來マセヌケレドモ、目錄ヲ其儘廣告スル必要ハ、先ヅナイ積デ、ソレヨリモモウ少シ簡便ニナル積デアリマス

○奥田義人君 其點ガ今ノ九條ニ關係ヲ有ツヤウニ考ヘル、若モ此目錄ト云フモノヲ、一々廣告ニ御示シニナルト云フコトナラバ、如何ニモ此九條ト云フモノガ、生キテ來

ルヤウニ思フ、然ルニ第八條ニ依ッテ見ルト、目錄ヲ廣告ニ示スト云フコトハ現ハレテ居ラヌ、目錄ト云フモノハ、先ヅ此場合隠レテ居ルヤウニ見エマスカラ、ソレヲ自カラ九條ニ付イテノ疑ヲ起シタノデアリマシテ、當局者ノ御意見見ハ、目錄ノ中ニ重モナルモノヲダケデモ掲ケラル、御考デアリマスカ

○政府委員山之内一次君 重モナルモノトシテモ、目錄ニ掲ゲルト云フニハ、モウ少シ總括シテ、廣告スル積デアリマス

○奥田義人君 サウ致シマス、中ニハ或モノガナカタカラト云ッテ、一向差支ナイヤウニ考ヘラレマスカ、ドウデスカ

○政府委員塚田達二郎君 唯今ノ御尋ハ、品物ニモ依リマスカ、例ヘバ保線材料ノ中デ、「レール」ノ如キハ、特定致シテアリマセヌカラ、「レール」百磅ナラ百磅ト書イテアレバ、品物ハ他ノ物デモ、品質ガ同様ナレバ、一向差支アリマセヌガ、例ヘバ唯今御話ノ如ク、汽罐車貨車ト云フヤウナモノニナルド、ヤハリ目錄ニモ汽罐車ノ第一號カラ百號ナラ百號トシテ、何レモ廣告ニナラウト思ヒマスカラ、其番號ガ違ヒマシタナラバ、ヤハリソレハ番號ヲ掲ゲテ廣告スルコトニナリマセウカラ、番號ガ變タラ廣告ヲヤリ直サナケレバナラヌコトニナッテ來ルト思フノデアリマス

○奥田義人君 サウスルト、保線ノ材料ナドハ、古イモノデモ全部保存スルト云フコトデ、古イモノデモ、賣ルコトモ出來ヌト云フコトニナリマスカ……

○政府委員塚田達二郎君 保線材料ノ如キハ、唯今申上ゲマシタ通、土臺ガ數デゴザイマスカラ、品質ト數量トガ變テ居リマセヌケレバ、此方ハ物ト云フコトニ付イテ、確定シテ廣告シテナイノデスカラ、數量等ニ於テ變更シナイ限リハ、差支ナイト思ヒマス

○奥田義人君 ソレデ古イモノハ……

○政府委員山之内一次君 ソレハ保線材料トナルモノデナク、例ヘバ「レール」デモ磨減シテマッテ、ソレヲ取替ヘタモノナド、ソレハ保線材料トハナリマセヌカラ、賣拂ッデモ宜シ、斯ウ云フコトニナリマス

○板東勘五郎君 今ノ箇條ノ御説明デアルト、實ニ窮窟千万ノコトデ、私ハ果シテソレダケノ檢束ノ必要ハアルマイト思フ、汽罐車ノ御説明モアリマシタガ、凡ソ鐵道財團ヲ作ッテカラ、抵當權ノ消滅ト云フマデニハ、其期間ガ餘程長イモノト思フ、其長イ期間ニ於テ、始メテ拵ヘタ鐵道汽罐車ノ如キハ、會社ノ必要、營業ノ便否ニ依ッテ、或ハ取替ヘナケレバナラヌコトモ生ズララウシ、又破損スレバ、ソレヲ修繕シ修繕ニ堪ヘナイ時ハ、捨賣ニモシナケレバナラヌ、ソレヲ汽罐車ニ付イテハ、或ハ他ノ鐵道會社カラ望ミニ來ルコトモゴザイマセウ、故ニ是等ハ營業上ノ利益トシテ、許シテ置カナケレバナラヌ、左モナケレバ恐ラクハ利益ト云フ上ニ於テ、非常ノ差支ガ生ジヤウト思フ、ソレヲ若シソレヲ許スコトニナルト、ドウ云フ御差支ガアルカト云フト、先刻御話ノ如ク、度々廣告シテ、ソレヲ債權者ニ聞カセナケレバナラヌト云フ憂ガアルト云フコトデスカ、汽罐車ヲ賣ルトカ云フコトハ、極ク偶ノコトデ、サウ度々アルト云フコトデモナイノデ、是ハ營業利益上ノ必要ノ問題デアリマスカラ、ソレヲ見逃シタコトガ、左程ノ手數ヲ煩ハスコトモナカラウト思ヒマスカ、ヤハリ先刻ノ御説明ノ如ク、始メ財團ニ入レタ目錄ニ掲ゲタ汽罐車ノ如キハ、腐ッテモドウシテモ、其通ニシテ置ク必要ガアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 此九條ノ趣意ハ、唯今御尋ノ如ク、抵當權ヲ設定サレマシタ爾後、財團ガ長イ期間ノコトヲ、規定シタモノデハナイノデ、廣告ヲスルトカ、認可ノ申請ノ時カラ、財團ノ認可抵當權ノ認可ニナル時マデノ時間ヲ規定シタ積デアリマス、從デ財團ガ既ニ出來マシタ以上ニ、或ハ汽罐車等ガ古クナタ場合ニ、之ヲ賣ルカト云フ處分等ニ付イテハ、少シモ此法條ハ意味シテ居ナイト思ヒマス

○板東勘五郎君 スルト、官廳デ抵當權ノ認可ヲスル間デアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 サウデアリマス、其必要ハ今申上ゲマシタ通、財團ノ目錄ガ極マルト云フ時ニ、ソレガ始終動イテ居ッテハ、主務官廳ガ認可ヲスル途ガアリマセヌカラ……

○板東勘五郎君 サウスルト、先刻ノ御説明ト少シ違ウヤウデアリマスカ……

○政府委員山之内一次君 チョット板東サシノ御話ノ如キコトハ、修正ニナリマシタ二十條ニアリマシテ、此手續サヘスレバ、處分スルコトモ出來マスカラ、少シモ差支ナイ積デアリマス

○板東勘五郎君 是ニハ所謂變更ノコトハ規定シテアルガ、賣渡シスル明文ハナイデアリマスカ……

○政府委員塚田達二郎君 賣渡スコトモ二十條ニ「又ハ鐵道財團ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキ」トアッテ、此處分ハ御承知ノ通、法律上ノ處分ヲ含ンデ居ル、即チ讓渡ナリ贈與ナリ、總テ自分ノ手カラ離權スルコトヲ含ンデ居リマス

○理事神崎東藏君 次ハ十一條カラ二十條マデ

○板東勘五郎君 此十一條ニ付キマシテ、又之ガ其十一條ノ規定ハ、所謂全部ニ對シテ、財團ヲ設ケタ時分ニハ、如何ニモ之ガ適用ガ出來マスカ、一部ノ財團ヲ設ケタ時分ノ適用ニ付キマシテ、少シ疑ガ生ズルデアリマス、第三條ニ掲ゲタルモノハ、是非此鐵道財團ニ當然屬スヘキモノト云フコトニナッテ居ル譯デ、第三條ニ掲ゲタルモノハ、所謂鐵道會社ノ全部ニ對シテ、必要ナモノデアッテ、分轄スベカラサルモノガアル、而シテ其モノハ一部分ノ營業上ニモ、關係ヲ保ッテ、例ヘバ鐵道會社デアアル、或ハ先刻御話ノアッタ社長ノ社宅デアアルト云ヒマスノハ、全部ニ對シテ一ノ工作物ニナッテ居ル、之ヲ若シ社長ノ社宅トカ、或ハ會社ノ事務室トカ云フベキモノハ、一部ヲ設ケル時分ニハ、ドチラヘ附ケルカト云フ一ノ疑問ガ起ル、ソレハモウ財團ヲ拵ヘルトキニ、除外シ得ラレベキモノデアレバ、別デアリマスカ、サウ云フヤウナ全部ニ關係スベキ工作物ニ對シテ、一部ノ財團ヲ適用スルコトハドウデアリマスカ

○政府委員山之内一次君 丁度十一條ニ、ヤハリ困難ヲ御感ジニナルノハ、御話ノヤウニ、三條ニ困難ヲ感ズルト同様ノ結果ヲ生ズララウト思ヒマス、三條デ定メマスノハ、雙方ノ契約ヲ結ブ者ガ、第一ニドッチニ這入ラセルカト云フコトヲ、定メマシテ、ドッチニ這入ルノガ適當カト云フノハ、結局主務官廳ノ認可ニ依ッテ定マリマスノデ、例ヘバ社長ノ社宅ノ如キハ、極ク一部ノモノヲ申シマス時分ニ、寧ろ本線ニ屬スベキモノデアルカラ、他ノ一部ノ方ニ這入ルベキモノデアナイト云フコトハ、初メノ約束ト、主務官廳ノ認可ニ依ッテ、定マルベキモノト思フノデアリマス、十一條ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリソレト同様ノコトニナラウト思フノデアリマス

○奥田義人君 此十一條ノ第二項ニ、不動産ニ關スルモノ、登記ハ、其効力ヲ失フ
ト云フコトガアリマスガ、是ハ登記ヲ抹消スルコト云フ積リデスカ
○政府委員塚田達二郎君 是ハ手續キテ抹消スルコトニスル積リデスカ
○奥田義人君 ツレハ手續ノ方デト云フコトハ、細則デサウ云フコトヲ御定メニナルデス
カ

○政府委員吉村源太郎君 其積リデス
○奥田義人君 スルト此但書ノ場合ハ、ドウナルデスカ、抵當權設定認可ノ効力ヲ失
フト云フコトハ、此場合ニ於テ、一タヒ抹消シタル登記ガ、又回復シテ其効力ヲ存スル
ト云フコトニナルノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 此但書ノ場合ハ、詰リ抵當權設定カト云フノハ、認可ガ
アリマシタ後二箇月内ニ登記ノ申請ガナカッタ場合ハ、詰リ條件附テ登記ガ効力ヲ失フ
ト云フコトニナリマスカラ、其認可ノ効力ヲ失ツテ、ツレガ活キテ來ルト云フ積リデスカ
○奥田義人君 サウ云フコトハ、法律デ極メナクテモ、省令デ出來得ルト云フ御見込
デスカ

○政府委員吉村源太郎君 御答致シマスガ、此六十八條ノ第二項ニ規定ガゴザイマ
スガ、此他ノ場合ニ於キマシテハ、不動産登記法ノ規定ノ方デ細則デイケル積リデスカ
○奥田義人君 不動産登記法ニドウ云フコトガアリマス

○政府委員吉村源太郎君 總テ細則ハ司法大臣ガ之ヲ極メルトアリマシテ、此十一
條ノ二項ノ規定ハ、詰リ不動産登記ノ除外例ニアリマス、ソレデゴザイマスカラ、不動産
登記法ニ規定ガゴザイマシテ、其細則ノ中ニ規定ガ出來ル積リデスカ
○奥田義人君 ソレハ承知致シテゴザイマスガ、登記ノ此効力ノ回復ノコトマデガ、手
續ト云フ細則ノ中ニ這入ルト云フ御考デセウカ

○政府委員吉村源太郎君 効力ヲ失フト云フコトハ、此法案ニゴザイマス通、其手
續ト致シテ、抹消スルト云フコトハ、細則デイケル積リデスカ
○奥田義人君 抹消シタ其登記ガ、再ヒ効力ヲ回復スルト云フコトハ、細則デ出來ル
ト云フノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 ツレモ但書ニ効力ヲ失ヒタルトキハ、此ノ限ニ在ラズト云
フコトマデ、書イテゴザイマスレバ、手續ニ屬スルノデゴザイマスカラ、イケル積リデスカ
○奥田義人君 宜シウゴザイマス——ソレカラ二十六條ノコトニ付イテ、昨日モ一應
質問ヲ致シテ置キマシテゴザイマスガ、貴族院ノ修正デ十箇年ガ、二十箇年ニナリマシ
タ、是ハ蓋シ債務ノ辨濟ヲ餘リ早クセラル、ト云フヤウナコトガアッテハ、資本ヲ卸シタ者
ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケナケレバナラヌト云フ趣意カラ、斯ノ如キ修正ニナタト信ジマスガ、
サウデスカ

○政府委員吉村源太郎君 御問ノ通デス
○奥田義人君 果シテ然ラバ、其又以下ノ所ニ付イテハ、サウ云フ懸念ハ少シモナイ
ノデセウ、据置年限ヲ經過シタルトキハ、抵當附債務ヲ辨濟スルコトヲ得トアルノデスカ、

三箇年ナラバ三箇年ノ据置年限ノ契約ニ依ツテ、資本ヲ貸付タ、其三箇年ガ經過シタ
トキニハ、一時ニ其債務ヲ辨濟スルコトガ、出來ルヤウニナッテ居リマスカラ、此場合ニハ
資本家ニハ、迷惑ヲ掛ケヌト云フ御精神デスカ

○政府委員吉村源太郎君 据置年限ガ經過シタ場合ハ、直チニ債務ノ辨償ガ出來
ルト規定シタルハ、債權者債務者相互ノ契約デ、何年間据置ノ後ハ、何時タリトモ返
スコトガ出來ルト云フノデスカ、第三者タル政府ガ返シテモ、抵當權者ノ意思ニ反シナ
イ考デアリマス

○奥田義人君 据置年限ガ經過スレバ、何時デモ返シテ宜イト云フ意思ハ、ドコマデ
御推定ニナリマスガ、据置年限ガ三年ナラバ、三年ノアト十箇年賦トカ、二十箇年賦
トカ、三十箇年賦ト云フコトニナッテ來ルト思ヒマスガ、唯今ノ御説明デハ、少シ趣意ガ
分ラヌヤウデスカ

○政府委員吉村源太郎君 据置年限ガ經過シタ後ト、法律ガ規定シタルハ、据置年
限ガ經過スレバ、何時タリトモ返シテ宜イト云フ、趣意ニ見タノデアリマス

○奥田義人君 据置年限ト云フノハ、サウ云フ意味ノコトデセウカ、普通ノ意味デ言
フト、元本ヲ返スニ二年ナラ三年トシテ、四年目カラ一箇年ニ何程ト云フヤウニ、漸次
返シテ往ク、其場合モヤハリ据置年限デハアリマセヌカ

○政府委員塚田達二郎君 唯今ノ御尋ネノ通、据置年限ニハ二通ノ意味ガゴザイマ
シテ、一方ノハ据置年限ノ經過後、何時タリトモ返スト云フコト、据置年限ガ過ギマス
ルト、ソレカラ始メテ年賦償還ガ起ルト云フ場合ト、二タ通ゴザイマス、御承知ノ通、政
府ノ公債ナドハ、据置年限ガ經過スレバ、何時デモ一時ニデモ返スコトガ出來ルコトニ
ナッテ居リマス、勸業銀行ガ金ヲ貸ス場合ニモ、据置年限ガ經過スレバ、初メテ年賦償
還ノ事ガ起ッテ來ルト云フコトニ、ナッテ居リマス、此場合ハサウ云フ風ニ法律ガ規定シテ
居リマスレシ、債權者タルモノハ、据置年限ヲ極メマスニ、何レ契約デ極メマスカラ、其
据置年限ガ經過シタ後ニハ、何時タリトモ、第三者タリトモ、政府タリトモ、其債務ヲ
辨償スルコトガ出來ルト規定シタ以上ハ、債權者ハ其法律ヲ知ッテ契約ヲスルノデスカ
ラ、二通りノヤリ方ノ中デ、自分ノ利益ト認ムル方法ニ依ルモノト思ヒマスカラ、此法律
ノ規定ガアルガタメニ、債權者ヲ害スルト云フ虞レハナイト考ヘマス

○奥田義人君 成程其債權者ガ自分ノ利益ト認ムル方デ、据置年限ヲ定ムルト云フ
コトハ、無論出來ルノデスカ、サウスルト債權者ノ利益ノ方カラ言ヘバ、据置年限ヲ長ク
スルトナルガ、今度ハ會社ノ方ノ側ニ立ツト、此規定ノアルタメニ、据置年限ヲ長クセラレ
テ、或ハ高イ利子ノモノデモ、長ク借テ置カナケレバナラヌト云フヤウニ、一方ニ不利益ガ
起ッテ來ル虞レハアリマセヌカ

○政府委員塚田達二郎君 ツレハ債券者債務者共ニ、利害ノ關係ヲ異ニシテ居リマ
スカラ、互ニ相談ツクテ往クコトヲ、法律ガ据置年限ヲ經過シタナラ、政府ガ借上ゲタ
場合ハ、其債務ヲ辨濟スルコトガ出來ルト規定シタメニ、特ニ債務者タル者ガ、高イ
利子ノ金ヲ借リナケレバナラヌト云フ不利益ハ生ゼヌト思ヒマス、他ノ一方ノ抵當權設
定モ、二十箇年ト云フコトニシテアリマスガ、不利益ナル据置年限ヲ債權者ノ方デ要求
シタ場合ハ、据置年限ヲ極メズシテ、初メカラ借タ、翌年カラ直二年賦償還デ、二十箇

年其方法借リテ宜イノデスカラ、其二十箇年ト云フ方法モアリマスルシ、据置年限ヲ、其經過後何時デモ返スト云フ約束ノ方法モアリマスカラ、此二通りノ方法ノ中デ、債權者ナリ債務者ナリノ意思ノ合ハタトコロデ、御互ニ是ナラバ不利益ハナカラウト云フ所デ、契約が出来ルコトと思ヒマスカラ、どちらカ一方ニノ限リテ居タナラバ、御説ノヤウナコトモ、ナイトモ限レマセヌケレドモ、二ツノ方法ヲ設ケテアリマスカラ、其二ツノ方法ノ中デ、當事者が算盤ヲ取ッテ見テ、互ニ利益ノ一致シタ所デ、契約が出来ヤウト思ヒマス

○奥田義人君 此抵當權設定ノ二十箇年ハ、契約ニ依ッテ定マルノデハアリマスマイ

○政府委員塚田達二郎君 抵當權設定ノ二十箇年ノ規定ノ方ハ、是ハ据置年限ガ、假ヘバ五年ナラ五年ニシマシテ、ソレカラ年賦償還ナリ其償還ガ、二十箇年ノ年賦償還ニシテ返ス、サウスルト 抵當權設定後、即チ普通政府ガ借上ゲタ場合ニハ、二十五年デ債務ガ返サレルノデスカ、二十年後ニシタナラバ、政府ハ一時ニ返スコトが出来ルト云フコトニナルノデスカラ……

○奥田義人君 是ハ斯ウ云フ意味デスカ、抵當權設定後二十箇年ト云フノハ、据置年限ガアルナイニ拘ハラズ、政府ハ其債務ヲ二十箇年經過スレバ、イッデモ辨濟が出来ルト云フ意味デハアリマセヌカ

○政府委員塚田達二郎君 設定後二十箇年ト申シマスルコトハ、即チ金ヲ借リテ二十箇年ヲ經過シテ居ルモノデアタナラバ、例令其債務ガ期限内ノモノデアデモ、政府ガ借上ゲタ場合ハ、債權者ハ其債務ノ辨濟ニ付イテ、拒ムコトが出来ナイト云フ、規定デゴザイマスカラ……

○奥田義人君 宜シウゴザイマス

○理事神崎東藏君 外ニナケレバ、三十一條カラ第四十九條マデ……

○奥田義人君 此第三章ニ強制執行ト云フコトガアリマスガ、此法文ニ依ッテ見マサルト、強制執行ニ關スル民事訴訟法ノ規定ト云フモノヲ、此規定以外ノモノニ關シテハ、適用セラル、ノデアルカ、サウデナイカト云フコトハ、少シ不明瞭ニ思ヘマスガ、ソレハドウ云フ御精神デスカ

○政府委員塚田達二郎君 三章ノ強制執行トアリマス、唯今ノ御質問ノヤウナ疑ヒガ起ルト云フコトハ、貴族院ノ委員會ナドニゴザイマシタガ、元來立案ノ趣旨ハ、強制執行ノ手續ニ付イテハ、強制競賣強制管理ハ、民事訴訟法ヲ適用センケレドモ、強制執行ノ通則ハ適用スル趣旨デ、出来デ居タカラ、サウ云フ解釋ガアッテハト云フノデ、貴族院ノ委員會疑ヒガアッテハ、立案ノ趣旨ト違フカラト云フノデ、修正ニナツタ

○奥田義人君 強制競賣強制管理トナツタカラト云フテ、民事訴訟法ニ云フ強制競賣、強制管理ト云フコトニ、ドウシテ解釋が出来マスカ、本法ニ云フ所ノ……

○政府委員塚田達二郎君 夫ハ特別法ニ於テ、強制競賣、強制管理ノコトヲ、第一ニ規定シタ譯デ、其特別法ニ規定ノナイ、強制執行ニ關スル一般ノ法規ガアリマシタナラバ、其法規ノ適用ヲ受ケテ、強制執行ニ對スル異議、強制執行ニ對スル訴、強制執行ニ關スル一般ノコトハ、民事訴訟法ニ書イテアル一般ノ總則ハ、是非其特別法ノ上ニ於テ適用ノアルハ、疑フ容レル餘地ガナイト思フノデアリマス

○奥田義人君 サウスルト、抵當權ノコトニ關シテモ、民法ニ於テ抵當權ノ規定ガアル

ガ、本法以外ノ事柄ニ付イテハ、ヤハリ民法ノ抵當權ノ規定ヲ適用スルコトニナリマスカ

○政府委員塚田達二郎君 抵當權ノコトハ、民法ニモ規定ガアルガ、抵當權ハ不動産ノ抵當權デ、此特別法ニ規定セル抵當權ハ、物ト云フ財團ノ抵當權ニテ、民法ノ抵當權トハ少シ違ウ、從ッテ民法ノ抵當權ノコトハ、直接ニ適用ハ出来ナイト思フ、併ナガラ民法ノ他ノ規定、即チ法律行為一般ノ時効意思表示ニ關スルコト等ハ、ヤハリ特別法ノ抵當權ニ付イテ、適用サル、モノト思フ

○奥田義人君 其點ガ委員長カラ質問ニナツタコト、關係ヲ持ツガ、民事訴訟法ハ斯ノ如キ鐵道財團ヲ認メテ、強制競賣、強制管理ノコトヲ規定シテ居ラス、夫故先刻ノ質問ガ出タカト察セラル、ガ、今ノ説明デアルト、民法ノ抵當權ハ不動産ノ抵當權デ、鐵道財團ノ抵當權ノ如キハ、當テ依メルコトハ出来ヌト云フ説明デアルト、民事訴訟法ニハ鐵道財團ノ強制競賣、強制管理ノコトヲ書イテ居ラスヤウアルガ、是ガ少シ前後貫徹シナイ説明ノヤウニ考ヘマスガ……

○政府委員吉村源太郎君 鐵道財團ハ、不動産ト見テ居ナイノデ、若シ見テ居レバ、強制競賣、強制管理ノコトヲ、此ニ書ク必要ハナイノデス、抵當權ニ付イテ財團ヲ、一ノ不動産ト見レバ、民法ハ當然當テ籍マルガ、然ルニ不動産ト見ヌデ、一個ノ物ト見做シテ居ル、而シテサウ云フモノハ、ドウ云フ効力ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、民法ノ規定デケラ見タケテハ分ラス、民法ノ抵當權ノ規定ハ、一モ適用ノナイコトニナツテ居ルノデス、ソコデ強制執行ノコトモ、強制競賣、強制管理ノコトガ、民事訴訟法ハ不動産ニ對スル強制執行ノ方法ノミデ、鐵道財團ハ不動産デナイ、故ニ其規定ハ當然當テ籍マラスコトニナル、從ッテ強制競賣、強制管理ノコトニ付イテ規定シテ、民事訴訟法ノ是ニ關スル規定ヲ適用シナイコトニナル、唯民事訴訟法ノ強制執行ノ總則ハ、之ハ不動産ニ關スルモノバカリデナク、權利ニ關スルコト、動産ニ關スルコトモアッテ、總テガアリマスカラ、鐵道財團ヲ物ト認ムル故、此物ノ強制執行ニ對シテハ、當然之ヲ適用スルコトハ、特ニ明文ヲ待タズ明カデアラウト云フ考ナデアリマス

○理事神崎東藏君 次ハ五十條カラ六十九條迄……

○板東勘五郎君 五十條ニ付イテ……強制競賣ラスル場合ニ、入札ヲ得ベキ資格ノモノガ、規定シテナイガ、之ハ七人以上ト云フコトデ出来ルノデスカ、商法ニ總テ七人以上ノ發起トアルカラ、此七名ト云フ趣意ニ外ナラヌノデスカ

○政府委員塚田達二郎君 其通りデス

○板東勘五郎君 若シ鐵道事業ヲ營ムモノニアラズシテト云フト、鐵道營業ヲナサル以外ノモノニハ、許サヌコトニナリマスカ

○政府委員塚田達二郎君 左様

○奥田義人君 五十一條ノ第二項ノ前項ノ規定ハ、競買人ニシテ抵當權者ガ是ニ加ハルモノニ付イテハ云々ト云フ、規定ガアリマスルガ、抵當權者ガ競買人ノ一人ニ加ハリマシタトキニハ、抵當權者以外ノ者マデモ、此供託ヲナスコトノ義務ヲ負ハル、ト云フ譯ニナルノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 此五十一條ノ二項ニ付イテハ、抵當權者ガ七人ノ中ノ

一人若クハ二人以上デアツタト云フ場合ニハ、其組合ダケガ保證金ヲ納メル義務ヲ、免ル、ト云フコトデゴザイマス

○奥田義人君 競買人が皆抵當權者デアルト云フ——競買人ニシテ抵當權者ガ之ニ加ハルモノニ付イテノ……

○政府委員吉村源太郎君 此競買人ト云フモノハ、個々ノ競買人ヲ見テ居リマス、競買人ノ組合ノ中ニ、抵當權者ガアレバ、總テノモノガ保證人ノ義務ヲ免ル、コトノ趣意デナイ、其競買人ト申スノハ、前條第一項ニ據テ、特種ノ競買人ヲ指スノデ

○板東勘五郎君 此鐵道ノ營業者以外ノ者ガ、競買——供託シマスレバ、無論本免狀ノ申請ヲ爲シテ居ル、會社ノ組織ノ如キ手續ヲ爲サネバナリマセヌガ、若シ鐵道ヲ持テ居リマスル營業者ガ、ヤハリヤル手續ニ付キマシテハ、規定ガナイヤウデアルガ、ドウ云フ……

○政府委員吉村源太郎君 唯今ノ點ニ御答シマスルガ、七十五條デゴザイマス、七十五條ノ規定ハ契約人が會社デアル、即チ既設ノ鐵道會社ガ競落人デアツタ場合ニハ、定款變更ノ修正サヘスレバ宜シト云フ考デ

○奥田義人君 第六十五條ノ但書ニ「但シ債權者カ」ト、斯ウアリマス、競落人ノ場合ニ於テ、之ハチヨット先刻モ茲デ御話シタデスガ、此所ダケデスナ、債權者ガトアルノハ——抵當權者ガト書イテナクシテ、外ノ所ハ皆抵當權ガトアルヤウデアルガ

○政府委員吉村源太郎君 之ハ別ニ深イ理由ハナイ、抵當權者ノ積リデゴザイマス
○板東勘五郎君 ドノ箇條ニ當テ依リマスカ分リマセヌガ、競落人ガ本免狀ヲ申請シテ、更ニ會社營業ヲ組織シマスルト云フ間ニ於ケル所ノ營業ハ、ドウ云フ人ガスルコトノ手續ニナリマスカ

○政府委員塚田達二郎君 競落人ガ本免狀ヲ受ケマスルマデノ間ト云フモノハ、競買ニ附セラレタ會社ガ、ヤハリ從來ノ營業ヲ繼續シテ居ルコトニナル

○板東勘五郎君 本免狀ヲ受ケテ本免狀ノ下ガルマデ——ソレヲ所有シタラバ、ソレガ所用權ガ移轉スルコトニナリマスカ

○政府委員塚田達二郎君 本免狀ガ下ガルト同時ニ、所有權ト云フモノガ、移轉スルコトニ、二十六條ニ規定デゴザイマス

○板東勘五郎君 ソレデ其金ヲ支拂ヒマスルモノト、本免狀ヲ認可ニナツタモノトガ、必シモ同一ノ手續デナイ場合ハ、ドウ云フ……

○政府委員吉村源太郎君 之ハ此六十六條、ソレカラ七十七條、是等ノ規定ニ依リマスルト云フト、先ツ競落ト云フモノガ確定スル、競落人ニ直グニ權利ガ移ラナイデ、其競落人ガ本免狀ノ申請ヲシテ、會社ヲ建テ、サウシテ本免狀ノ下付ガアルト云フト、ソレカラ一週間以內ニ、代金ヲ拂フ、代金ヲ拂ツタトキニ、權利ガ移ル、即チ本免狀ヲ貰ツデカラ、代金ヲ仕拂フマデノ間、本免狀ヲ貰ツタケレドモ、其本免狀ハ効力ヲ有シテ居ナイ、權利ガ移ツタトキ、即代金ヲ支拂ツタトキニ、以前ニ貰ツタ本免狀ガ効力ヲ生ズルト、斯ウ云フ規定ニ七十七條ニナツテ居リマス

○理事神崎東藏君 皆サンニ御諮リ致シマスルガ、後ト七十條カラ九十三條マデ殘ッテ居ルノデゴザイマスガ、先刻望月委員長カラモ、此案ニ付キマシテ、修正其他ノ意見ヲ

發表スル前ニ、皆サンニ御協議ヲシテ、置キタイコトモアルヤウナコトモ、御話モアツタヤウナコトデゴザイマスカラ、代理トシテ此會ヲ整理シテ居リマスル私ガ、先キマデヤツデシマフノハ、如何ニモ超權ノヤウニ考ヘマスカラ、時刻モ晝近クナリマシタカラ、是デ此午前ノ會ハ開デマシテ、午後ニナリマシテ、望月委員長ノ都合ニ依ッテ、モウ一遍開クコトガアラウト考ヘマス、明日ハ——若シ午後二開カヌト云フコトニナルト、明日ノコトヲ今日極メテ置キタウゴザイマスカラ、明日ハヤハリ九時頃カラデ差支ガゴザイマスマイカ、皆サン……

○板東勘五郎君 モウ少シデゴザイマスカラ、ドウデス、質問ダケシマツデハ……

○理事神崎東藏君 ソレデハ晝マデモウ少シ時間ガアリマスカラ、七十條カラ九十三條マデ、御質問ノアル方ハ御質問ナサルヤウニ

○板東勘五郎君 八十三條カラ四條、五條、六條ト云フ、之ハ其先刻伺ヒマシタ中ニモアルデスガ、之ハ彼ノ一部債權設定ノ場合ノ疑問デアリマスケレドモ、今段々御説明ニ依ッテ承リマシタ所デ、隨分困難ナ扱ヒ方ト云フコトデアリマスカラ、何レ細則デモ出來テ、其細則ニ依ッテ幾分便宜ヲ圖ルト云フ御趣意ノ以外ニ於テ、極ク明カナ方法ト云フコトハ、承ルコトガ出來マセヌト、先刻來御説明デ考ヘテ居リマスツコハ、尤モ疑問ニ屬シマスルガ、八十六條ニ就キマシテ、取締役、官廳ニ對スル取締役ノ責任ハ、管理人ノ之ヲ負フト云フコトニナリマスルト、所謂官廳等ニ對スル——此官廳ニ對スル等ノ責任ガアリマスガ、株主其他ニ對シテノ所謂取締上ト云フノ責任ハ、依然トシテ即チ其鐵道監督ノモノガ、ヤツデ行クト云フ譯ニナルノデゴザイマスカ

○政府委員塚田達二郎君 此強制管理ノ申立ガアリマシテ、管理人ガ出來マシタ後ニ至リマシテモ、尙ホ會社ノ取締役ト云フモノハ、依然存在シテ居ル考デゴザイマス、株主ニ對シテ取締役ガ負擔スル責任ハ、是ハ管理人ニ負ハスコトハ出來ヌ、取締役ガ在リマス以上ハ、取締役ガ負擔フテ行カナケレバナラヌ、八十八條——管理人ガ事業年度ノ終ニ、計算書ヲ作ツテ、主務官廳ニ報告シ、其報告書ニ依ッテ更ニ取締役ハ會社ノ總會ヲ召集セシメケレバナラヌ場合、總會ヲ召集シテ、計算書ヲ承認スルヤ否ヤモ、總會極メルコトニナリマシテ、管理人ガ在デモ、取締役ハ兩立シテ行キマス

○板東勘五郎君 サウスルト、管理人ガ取締役ノ責任ヲ負ヒ、前ノ取締役ガアルト、二様ノモノガ出來ルト認メナケレバナラヌ、即チ官廳ニ對シテ總テノ責任ヲ負フト云フコトハ、株主總會ノ決議ヲ實行シ、其決議ニ依ッデハ、取扱順序ガ官廳ニ對スル責任ニナラウト思フ、サウ云フコトニ、御差支ヲ生ズルコトハアリマスマイカ、訴訟事件ガ起ルトカ、異議ガ生ズルトキハ、一ノ責任者ヲ、二ツニ分ケヤルト云フコトハ、出來惡イカト思ヒマスガ……

○政府委員塚田達二郎君 鐵道財産ノ管理人ガ出來タ以上ハ、ソレニ責任ガ歸スルカラ、鐵道運轉上ニ付イテ、官廳ノ命令通り執行スル、又主務官廳ノ認可ヲ要スルコトヲ、認可ヲ經ズシテ、管理人ガ斷行スルト云フヤウナ、鐵道ノ監督官廳ニ對シテ、鐵道ヲ管理シテ行ク上ニ付イテ生ジタ責任ハ、實際管理シテ居ル人ニ負ハスコトハ、當然ノコトデアツデ、ソレ以外ノ人ニ負ハスコトハ出來ヌト考ヘマス、此場合取締役ハ、鐵道ノ管理運轉ニ付イテ與ッテ居ルカト云フト、毫モ其事ニ關與シテ居リマセヌカラ、此場合責任ヲ負ハスコトハ出來マセヌカラ、鐵道自營ノ管理運轉ヲスルコトハ、管理人ニ負

ハスケレドモ、管理人ハ御承知ノ通り、會社ノ重役デモアリマセシマスカラ、株主ヲ召集スル權利モナク、又總會ノ決議ヲ實行シテ行ク義務モ持ッテ居リマセヌカラ、株主ニ對スル責任ヲ、管理人ニ負ハスコトハ、出來ヌコトニラウト思ヒマス、責任ノ分解ヲ付ケルト云フコトハ、御質問通り面倒ノコトデゴザイマスガ、併シ斯ウ云フ分解ヲ付ケタルヨリ、他ニ方法ハ無イト信ジマス

○板東勘五郎君 一例ヲ舉ゲレバ、所謂管理者タル取締役ガ、營業上ノ報告ヲ總會ニスル場合ニ、株主ニ責任ガ無イトスレバ、在來ノ取締役ト今度ノ管理人ノ取締役ガ、意思ガ一致セヌ時ハ、總會ノ事務ヲ整理スルコトガ出來ヌ、茲ニ當テ一部ノ財團ヲ設ケ、株主ハ全部ノモノデアデ、全部ノ株主總會ヲ開キ、其決議ニ責任ヲ負フデ、官廳ニ向テ申請ガ出來得マシマスガ、サウ云フ權限ガ理窟ノ上ニ於テ、ドウカト云フ懸念ガアル

○政府委員塚田達二郎君 御尋ネノ總會ヲ召集スルコト云フヤウナコトハ、管理人ハ總會ヲ召集スル權限ヲ認メテ居リマセヌ、總會ノ召集ハ取締役ガヤルデアリマシテ、取締役ガ總會ニ提出シマス損益ノ計算書又ハ配當案ハ、管理人ガ作ッテ報告書ヲ基礎トシテ、更ニ取締役ガ總會ニ提出スベキ計算書、其他ノ報告書ヲ作ルノデ、管理人ハタゞ總會ニ關係ナシニ、自分ハ營業ヲ管理シテ、收入ヲ各事業年度ノ終ニ纏メテ、實際ノ支出ニ基キテ計算書ヲ作ル、損益ガ幾ラ、利益ガ幾ラ、其中ドウ云フ風ニ抵當權者ニ分配シテ、其他株主ニ幾ラト云フ、其計算書ヲ受ケテ、取締役ガ報告書ヲ作ッテ、自己ノ責任ヲ以テ總會ヲ召集シテ提出スル、管理人ハ株主總會ニハ少シモ關係ヲ持ッテ居リマセヌ

○板東勘五郎君 唯今ノ御説明デアレバ、取締人ノ責任ヲ完クスルコトガ出來ナイ、仕事ガ起ッテ來ルコトハナイカ、在來ノ本社ニ屬スル取締人ハ、全ク營業上ニ關係シテ居ナイ、ドウ云フ方法ヲ以テ處置スルカ、ドンナ事ニ役員ヲ置イテ扱ヒスルカハ、管理人ノ權限ニ屬スル、然ラバ其報告ヲ以テ當リ前ノ取締人ガ、取捨折衷シテ配當案等ヲ株主總會ニカケル、其決議ニ對シテ官廳ニ報告スルコトハ、管理人タル取締人ガシナケレバナラヌ、若シ決議ニ違法ノ處分ガアリ、若クハ詐欺ノ行為ガアレバ、其責任ハ管理人ガ、官廳ニ向テ負責フベキモノデアル、其扱ハ在來ノ取締役ガスル、斯ウ云フコトニナリハシナイカ、取締役ノ權限ガ分轄シテシマウト云フヤウニナリハシナイカ、サウスルト非常ニ混雜ヲ來スデアラウト思フ、若シサウ云フ時分ニ、管理人ノ取締人ト、本當ノ在來ノ取締人トノ間ニ、意見ガ一定シナイトキハ、ドチヲ以テ所謂會社ノ取締人ト云フ、全株ノ職務ニ對シテ、責任ヲ負フコトニナルカ、斯ウ云フ疑問ガ起ルヤウニ思フノデスガ……

○政府委員塚田達二郎君 今ノ鐵道ノ一部ニ就キマシテ、財團ヲ設ケマシタ場合ナドニ就キマシテハ、餘程其責任ノ分解ガ、混雜ヲ來シハセヌカト云フ、御尋デゴザイマスガ、成程御説ノ通、鐵道ノ一部ニ就キマシテ、財團ヲ設ケマシタ場合ニハ、鐵道全株ガ財團ニナッテ居リマス場合ニ比シマスレバ、比較的問題ハ錯雜シマススケレドモ、併ナガラ全株ノ財團ト分解ノ財團ト云フモノハ、判然ト區別ガ出來ヤウト思ヒマス、何トナレバ、鐵道財團ノ一部ト申シマシテモ、一々政府委員モ説明ヲ致シマシタガ、獨立ヲシテ鐵道營業ノ出來ルモノヲ以テ、少ナクモ財團トスルノデゴザイマス、サウシマスルト平常管理

人ガ管理シテ居リマスル鐵道ト云フモノハ、範圍ガチヤント極ッテ居リマスカラ、其自己ノ管理ヲシテ居ル鐵道ニ關シテ、起リマシタ問題ニ付イテ、主務官廳ニ對シテ負ハナケレバナラヌ、責任ガアルナラバ、例ヘバ其管理シテ居ル鐵道ノ線路ナラバ、線路ヲ主務官廳ノ認可ヲ經ズシテ、變更ヲシタト云フヤウナコトガアリ、又鐵道法規ニ規定シテアルニモ拘ハラズ、其規定ニ反シテ其財團ニ付イテ運輸ヲシタ、又鐵道ノ法規上ノ取締ノ規則ガアルニモ拘ハラズ、取締ノ規則ニ服從シナカッタト云フヤウナコトニ就キマシテハ、詰リ管理人ガ主務官廳ニ對シテ、責任ヲ負ヒマシテ、罰金ナラ罰金、科料ナラ科料ニ處セラル、ト云フコトニナッテ參リマス、ソレカラ全株ニ就キマシテ、管理人ガ其鐵道全株ヲ、管理シテ居リマス場合デアリマシテモ、ヤハリ唯今申サウナ問題ニ付イテ、法ニ反シタ取扱ヲシタト云フコトガアリマシレバ、管理人ガ詰リ負擔ヲシテ行クデアリマス、從來ノ鐵道法ナリ商法ナリノ規定ト云フモノハ、會社其他此法規ニ違反シタ場合、又主務官廳ガ認可ヲ要スルコトニテアッタノヲ、認可ヲ受ケズシテヤウナ場合ニ於テハ、取締役ノ科料ニ處スト云フ規定ニナッテ居リマス、其規定ガ詰リ管理人ニ當嵌マデ來ルデアルカラ、其場合ニ管理人ガ科料ニ處セラル、ト云フコトノ結果ヲ來スコトニナリマスカラ、ナゼサウナルカト申シマスルト、詰リ取締役ハ鐵道ノ管理運轉ヲシテ居ラナイデアリマシテ、鐵道ノ管理運轉ニ付イテノ責任ハ、ヤハリ管理人ガ實際事ニ當テ居リマスカラ、其責任ヲ負擔シテイカナケレバナラヌ性質ノモノデアリマス、責任ノ分解ハ判然ト出來得ルト考ヘマス

○理事神崎東藏君 モウ外ニアリマセヌカ

○安念次左衛門君 私ハチト遅ク出マシテ聴キマセヌガ、此四條ノ但書ノコトニ付イテ、ドナタカ御質問デモゴザイマシタカ

○理事神崎東藏君 御質問ニナッテ宜シウゴザイマス

○安念次左衛門君 貴族院ノ筆記ヲ調ベテ見マシタガ、ドウモハッキリ判ラヌヤウデアゴザイマスカラ、一應政府委員ニ伺ッテ置キタイ、是ハ貴族院カラ御修正ニナリマシテ、ソレニ政府ガ御同意ヲナサイマシタ意味デス、ドレ程ノ範圍ヲ以テ、此但書ニ御同意ニナッタデアルカ、其範圍ヲチヨット伺ヒマス、隨分區域ノ廣イ問題トスレバ、非常ナ區域ノ問題デアゴザイマス、又之ガ或一部ニ限ルト云フヤウナコトニナリマス、ドノ邊マデ限ッテ居ルモノデアルカ、ソレヲ聴キタイノデス、鐵道財團ニ附屬スルモノハ、斯クヤウノモノニ限ルト云フコトハ、第三條ニ規定シテゴザイマス、故ニ此規定中ノ此不動産ト云フコトニナリマス、敷地ナドハ最モ重モナルモノデ、此敷地ナドト云フモノニナルト、隨分登記ニ非常ナ手後レヲスルヤウナモノモアルデアラウト思ヒマス、其邊ヲ一應確メテ置キタイ

○政府委員吉村源太郎君 御答シマスガ、貴族院デ但書ノ這入リマシタ趣意ハ、本女ニモゴザイマス通、鐵道財團ノ中ニ在ルモノニ就キマシテ、所有權以外ノ物權ノ目的デアルトカ、或ハ鐵道財團ニ屬シテ居ル不動産ニ、他人ガ其上ニ賃借權ヲ有ッテ居ル云フ者ガアリマシタ時分ニ、會社ガ鐵道財團ヲ設ケルト云フコトガ出來ナイト云フノガ、政府提出ノ趣意デアゴザイマス、所ガ不動産ニ關スル權利ナリ、物權ニ致シマシテモ、又賃借權ニ致シマシテモ、登記ガアデ始メテ第三者ニ對抗ガ出來ル、登記ノナイ以上ハ、當事者間ノ關係ニ過ギナイモノデアルカラ、假令サウ云フ權利ガアデモ、若シ登記ガナイ

場合ニハ、ソレハ權利ガアルニモ拘ハラズ、財團ヲ拵ヘマシテモ、財團ヲ抵當トシマシテ、債權者ニ少シモ迷惑ヲ感ジナイ、抵當權者ガサウ云フ權利ハ、殆ドナイモノト同様ニ、自分ノ權利ヲ行ヒ得ルモノデアルカラ、登記ガナイ以上ハ、斯ウ云フ權利ガアツテモ、財團ヲ設ケルニ差支ナイデハナイカ、又實際カラ申シマシテモ、不動産ノ賃借權ノ目的ニスルトカ云フヤウナコトハ、會社デヤシテ居リマス、唯登記ガナイト云フノガ、實際ノ有様デゴザイマス、サウ云フモノマデ、登記ガナイニ拘ハラズ、サウ云フ權利ノ設定ヲ許サスト云フノハ、不便ガアリハシナイカト云フノデ、是ダケノ規定ヲ入レ、政府モ同意シタ次第デアリマス

○安念次左衛門君 事實ニ就イテ伺ヒマスガ、此鐵道ノ敷地ナドニ致シマス、隨分昨日政府委員カラ御説明ノアツタヤウナモノデ、口數ノ餘程大キイモノデ、サウシテ其反別ト云フモノハ、僅カニ二歩カ五歩ノモノモ澤山アル、就中此社地——神社ノ敷地ニ關係シテ居ルトカ、或ハ寺院ノ持チ地ニ關係シテ居ルモノニナルト、實際其神社ニ致シマスレバ氏子總代、若クハ寺院ニ致シマスレバ檀家總代トカ云フヤウナモノハ、始めニ約束ハ成立シテ、代金ノ上ニ於テモ濟シテ居リマシテモ、其登記ハドウカト云フニ、ナカノ三日ヤ四日經過シテモ、登記ガ濟マヌ、其間ニ寺院ノ住職ガ死シタトカ、替ハツタトカ云フヤウナコトデ、非常ナ手數ヲ要シテ、其登記ノ手續ヲ終ルコトガ出來ヌモノガ、往々アルト私ハ聞イデ居ル、サウ云フモノナンゾハ、此但書デ所謂取除ケニナルドラウト思ッデ居リマスガ、サウスルト、第八條デゴザイマシタカ、政府ガ廣告ヲ遊バス場合ハ、主務官廳ニ申請ヲシテ、官報ニ廣告スルト云フヤウナ場合ニハ、ドウ云フ形式ヲ以テ廣告ヲサラレルモノデアリマス、其邊モ一應伺ッデ置キマス、ソレデ私ノ申シタヤウナモノハ、取除ケノモノニ這入ラヌトシタナレバ、若シカ、ルモノガ少シニテモアリタル場合ニハ、鐵道財團ハ、トモ出來ヌモノデアルカト云フコトモ伺ヒマス

○政府委員吉村源太郎君 御答致シマス、唯今御話ノヤウナ神社ノ敷地トカ、寺ノ敷地ト云フヤウナモノヲ、鐵道會社ニ賣ツタト云フヤウナ場合ニ、未ダ登記ガ結了シテイナイ、サウ云フヤウナ場合ニハ、ドウスルト云フヤウナコトニ就キマシテハ、其場合ニ未ダ登記ガゴザイマセヌカラ、此四條ノ末項ノ規定ニ依リマシテ、財團ヲ設ケルニ差支ナイ、唯會社ガ有ッデ居リマスル敷地ノ上ニ、他人ガ權利ヲ有ッデ——物權ヲ有ッデ居ツタトスル、所ガ登記ガ濟マヌタメニ、財團ヲ設ケラレヌ、サウ云フヤウナコトニナレバ、其場合ニ會社ガ抵當權設定ヲ、主務官廳ニ認可ヲ申請シマスルト云フト、其財團ニ屬シマス不動産ニ付イテ、權利ヲ一定期間内ニ申出テラレト云フコトヲ廣告スル、其場合ニ未登記ノ權利者ガアレバ、ソレ等ノ申出ヲシマス、サウシマスルト、未ダ未登記デゴザイマシテ、無論財團ノ設定ハ差支ナイケレドモ、併シ財團ヲ設定セラレタメニ、折角登記シ得ラルルモノガ、得ラレナイコトガアル、其場合ニハ十一條ノ規定ニ依ッデ、會社ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲスルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナリマス

○理事神崎東藏君 ソレデハ是デ散會致シマス

午後零時四分散會

明治三十八年二月二十四日印刷

明治三十八年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局